



# あけぼのつうしん

令和6年（2024年）3月28日発行

No.87

## 〔目次〕

### ■ 注目！ notable case ～道内図書館（室）トピックス～

#### 特集：「本の並べ方（配架・分類）の工夫」

特集にあたって	.....	1
○ 置戸町立図書館 わがマチに見合ったルールを定める	.....	2
○ 札幌市図書・情報館 「はたらくをらくにする」オリジナルテーマによる配架	.....	4
○ 滝川市立図書館 「利用者目線の棚づくり～個性あふれる独自ルール本棚～」	.....	5
○ 幕別町図書館 本と本とをつなげる「文脈書架」	.....	7
○ 松前町立図書館 「借りたくなる」を目指す配架	.....	8
■ 2023・第77回「読書週間」の開催行事から ～市町村の事例紹介～	.....	9
■ 令和5年度図書館活動支援事業報告	.....	12
■ 令和5年度全道図書館専門研修〈利用者サービス〉令和6年1月26日（金）オンライン開催	.....	17
■ 道内図書館キャラクター紹介！ Vol.9 ・ぶっくん 市立士別図書館	.....	19
■ 「支援貸出用資料」の譲渡について ～当館で除籍となった支援活動用資料をお譲りします～	.....	20
■ サポートボックス継続募集！	.....	22
■ 編集後記	.....	24



## ■ 注目！ notable case ～道内図書館(室)トピックス～

### 特集「本の並べ方(配架・分類)の工夫」

#### 特集にあたって

今日では、ほとんどの図書館で『日本十進分類法』(以下、「NDC」と記す。)※により資料を分類し、所蔵の所在を示す請求記号を付して、それに基づき配架して(本を並べて)います。近年では、コンピュータによる資料管理が普及したこともあり、OPAC(Online Public Access Catalog; オンライン蔵書目録検索システム)も整備・普及し、探している資料が容易に見つけ出せるようになりました。

一方で、単にNDCの分類順に配架するのでは、利用者が書店のように予期せぬ本に出会えるケースが少なく、また利用の実態に合わない面もあることが図書館側からも指摘されます。「そもそもNDCは図書を主題別に分類するためのルールであり、配架方法として検討されたものではない」という見解もあり、関連の文献によると80年代半ばには、NDCにとらわれない主題でグルーピングしたり、配列順を変えたりするなど並べ方の工夫に取り組んだ事例が見られます。

道内の図書館においても、分類方法としてNDCを採用しながらも、並べ方については各々の図書館で、主題によるコーナーを作ったり、別置したり独自の工夫がされています。児童書(特に絵本)の配架については、施設の規模によらず様々な試みがなされています。

大切なことは、「利用者に分かりやすく探しやすい」ことがポイントですね。

今号の「注目！ notable case」の特集は、某町立図書館からのリクエストをもとに企画しました。紹介する5館には、NDCの体系によらない独創的な事例も含まれますが、どの図書館も利用を促すための利用者目線によるアイデアや工夫が見られます。

図書館の資料は「利用」されることを前提に「分類」し「配架」されるのです。皆さんの図書館(室)でも暮らしの中の自然な言葉による書架表示(サイン)も意識して、有効で独創的な配架を試みてはいかがでしょうか。

※ 1929年(昭和4年)に第1版が刊行。以来、社会の実情の変化や学問の進展等に合わせた変更により版を重ね、最新版は2014年(平成26年)に刊行された新訂10版である。

すべて道立図書館で  
所蔵しています！

#### 参考文献

- ・ 児玉孝乃、図書館における絵本の分類と排架を考える。短期大学図書館研究 2013, 33号, p.57-66.
- ・ 菅原春雄、特集、図書資料の組織化を考える：図書の分類の意義と配架について、学校図書館 2006, 666号, p.34-36.
- ・ 特集、図書資料の組織化を考える：Q & A どうする図書の分類・配架、学校図書館 2006, 666号, p.39-59.
- ・ 鬼頭宗範、特集、図書館の排架とサイン計画：中小公共図書館の排架とサイン計画への考え方—さいたま市立東浦和図書館の事例—、図書館雑誌 2005, vol.99, no.3, p.153-155.
- ・ 豊田高広、特集、図書館の排架とサイン計画：アグレッシブなサービスには、アグレッシブな配架が必要だ、図書館雑誌 2005, vol.99, no.3, p.156-157.
- ・ 白根一夫、特集、図書館の排架とサイン計画：高齢者の利用を意識した配架とサイン、図書館雑誌 2005, vol.99, no.3, p.158-159.
- ・ 中島和美、特集、図書館の排架とサイン計画：児童図書のイラストシールによる分類と排架、図書館雑誌 2005, vol.99, no.3, p.160-161.
- ・ 福嶋聡、特集、図書館の排架とサイン計画：魅力ある書店の棚づくり、図書館雑誌 2005, vol.99, no.3, p.162-164.
- ・ 國松恵子、斎藤民男、西尾恵一、西澤和江、嶋田卓美、江竜香織、嶋田学、特集、図書館の排架とサイン計画：魅力的な棚づくり—利用者に分かりやすく探しやすい配架の研究—、図書館雑誌 2005, vol.99, no.3, p.165-169.
- ・ 嶋田学、アグレッシブな配架の研究—思わず手が出る棚作りとディスプレイ、図書館経論 2004, no.45, p.41-50.
- ・ 南田詩郎、特集、図書館をデザインする：書店感覚で本が探せます！—朝霞市立図書館での排架排列の試み—、みんなの図書館 1993, 188号, p.40-44.
- ・ 小笠原清春、特集、図書館をデザインする：書店のノウハウ開いてみれば—『書店陳列ハンドブック』を読む—、みんなの図書館 1993, 188号, p.29-39.
- ・ 古屋律子、川田芳司、特集、児童奉仕の現状と課題：公共図書館における絵本・児童図書の分類と排架、図書館雑誌 1985, vol.79, no.5, p.258-260.
- ・ 前田秀樹、図書の排架について考える—書店調査を通して—、図書館界 1982, vol.34, no.4, p.290-295.

### (はじめに)

現在の置戸町立図書館は、2005年1月18日に開館しました。その前身の農村モデル図書館の出発は1965年1月18日。新館への移行を機に新たに取り組んだ工夫と共に、従来のやり方を引き継いだこともあります。両者が置戸の図書館の特徴を形成していることを、今回改めて確認しました。

### (分類表示と背ラベル)

図書館関係者の方が置戸町立図書館に来館されると、「背ラベルを貼っていないんですか？(どうやって棚に戻すんですか)」と尋ねられることがあります。

- 背ラベルは1段ラベルを使用し、一般書の0～8類と、9類の一部にのみ添付する
- 背ラベルを貼らない本は、内側に押す蔵書印のところに日本文学(913.6～916)は「F」、子どもの本なら「J00～J99」、絵本は「E」と記入する

これは旧図書館時代のやり方を引き継いでいるもので、「背表紙の情報を極力隠さない」ことが要点です。書架に並んで背表紙のみで勝負している本にとって、とても大事なことだと思います。

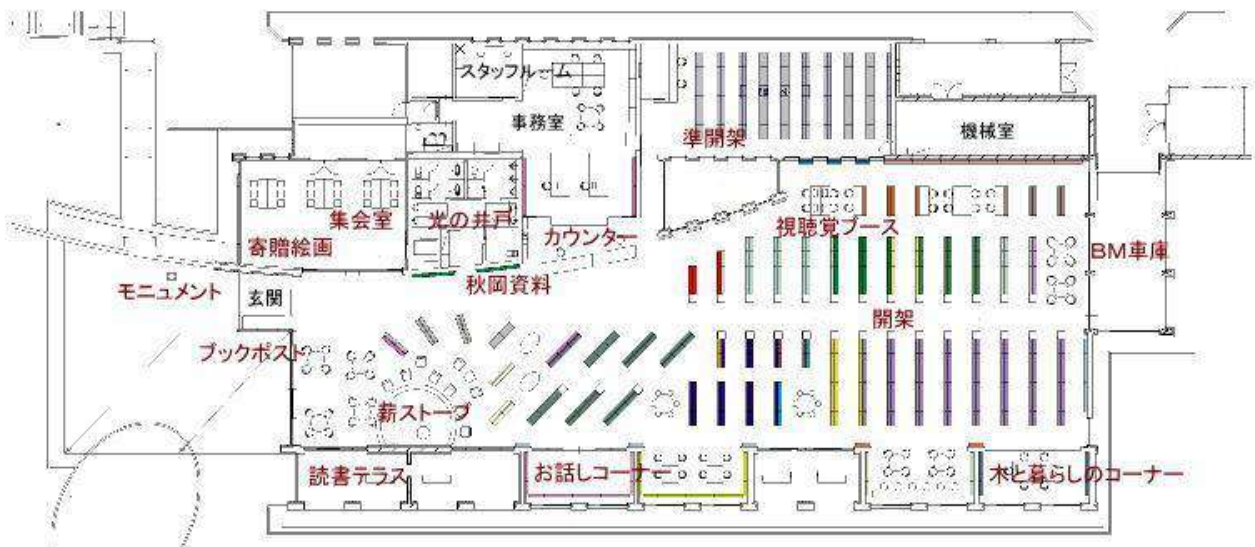
### (ゾーニングと配架、表紙見せと見出しの工夫)

20数年前の新館建設準備の頃、私はでき得る限り全国各地の図書館を見学し、特に「どういう順序で本を並べ、どんな見出しをつけているか」に着目してきました。そのなかで、見出しの言葉には、NDCの語句ではなく、日常生活のなかの馴染みある言葉を使おうという確信を得ることができました。

ある図書館では、NDCの順に配架することが当然視されていてびっくりしたものです。利用者の動線を考えながら、どんな風にゾーニングするか。そこに唯一の正解はなく、利用しやすさ、わかりやすさを最優先に工夫することが大切だと思います。

詳しくは書き切れませんが、置戸の場合、小さい子ども連れの方の利用を想定し、ロビーに近い場所に子育てや料理、洋裁の本などを置いて、絵本コーナーと隣接させました。小説類を敢えて奥にして、奥まで行く途中に各分野の本に出会ってもらうことを企図しました。

そしてそれぞれの書架の至るところで表紙見せ(面出しとも言います)を行っています。表紙の情報量は背表紙に比べ圧倒的です。帯も適切に残して添付します。書架の間を歩きながら、表紙に目が留まり、思わず手に取ってみる…。各分野それぞれの書架で、そんな偶然の出会いを演出できていたらいいなと思います。



### (混配と別置)

「混配」とは、大人の本と子どもの本を一緒に置くことです。置戸では、その利点が有効に発揮されると考えた自然科学分野の「40～48台」を混配しています。

「別置」の主なものの一つはいわゆる「YAコーナー」で、色付きの背ラベルで区分し、大人の本も子どもの本も、各分野から持って来ています。

育児関係のところには、599以外に名前のつけ方、子どもの病気・食事・子育て、絵本を紹介する本などを集め、透明オレンジシールでまとめています。



正面奥が、工芸コーナーに設置された「木と暮らし」の書架

もう一つは「木と暮らし」のコーナー。40数年前、置戸の特産品「オケクラフト」の誕生に繋がる本を収集し並べていた旧図書館時代の町民手作りの本棚を移設し、75台の工芸関係の本と一緒に、職人の手仕事や道具など広く「木と暮らし」に関連する本を、透明緑シールを1段ラベルの上から貼ってまとめています。

別置の色付きシールはブックコートの上から貼ることで、配架の変更をフレキシブルにしています。

### (移動図書館車も書架の一部)

置戸の平面構成の特徴の一つに、移動図書館車「やまびこ号」の存在があります。一般的に移動図書館車の車庫は管理部門にあるものですが、“やまびこの部屋”はガラス張りで開架の一番奥に位置し、巡回に出ていなければ書架の一部として自由に車内に乗り込み、他の書架の本同様に利用することができます。(本館に来て、小さな子どもたちは普段保育所や小学校で親しんでいる「やまびこ号」に本を探しに行くのが好きなようです。)



### (開放型書庫「準開架」)

もう一つの特徴は「準開架」です。どなたでもカウンター横の通路から入ることができます。書架の間隔は狭く本も天井近くまで並んでいますが、“書庫にあるので職員が取ってきます”、ではなく、自ら書架の前に立つことで、目的の本以外の本との邂逅も楽しんでもらえたらと願っています。(ただし、検索機で「準開架」と出た本を探し出すのは慣れないと大変なので、利用者の方が「準開架」に入られた時には声をかけるようにしています。)

### (「禁帯」と「参考図書」)

置戸では、「禁帯」と「参考図書」のシールを使いません。借りられない本はない、というのが基本です。(ただし地域資料の一部に例外はあります。)これには賛否両論あるでしょう。でも要は「それぞれの地域事情の中で、わがマチに見合ったルールを定める」ことが大切なのだと思います。公共図書館とはこういうものだ、と決めつけ過ぎて利用を不自由にしていないか。図書館員として当然と思っている「常識」を疑ってみることも、時には必要かもしれません。

今回紹介させてもらった置戸のささやかな工夫が、何かしらのお役に立てば幸いです。

(寄稿：置戸町立図書館 森田 はるみ 氏)

※ 置戸町立図書館のHP [http://www.town.oketo.hokkaido.jp/kyouiku\\_bunka/library/](http://www.town.oketo.hokkaido.jp/kyouiku_bunka/library/)



## 「はたらくをらくにする」オリジナルテーマによる配架

札幌市図書・情報館



札幌市図書・情報館は、2018年10月にオープンし、昨年には5周年を迎えました。場所は、札幌市の中心部にあり日々多くの方々に利用していただいています。特に、都心で働くビジネスパーソンを中心に「はたらくをらくにする」というコンセプトのもと、仕事や暮らしに役立つ情報を提供することが役割となっています。当館は、WORK（仕事に役立つ）、LIFE（暮らしを助ける）、ART（芸術に触れる）を軸に蔵書を構成し、文学や児童書、絵本のコーナーは設けていません。図書の種類を絞る代わりに各エリア

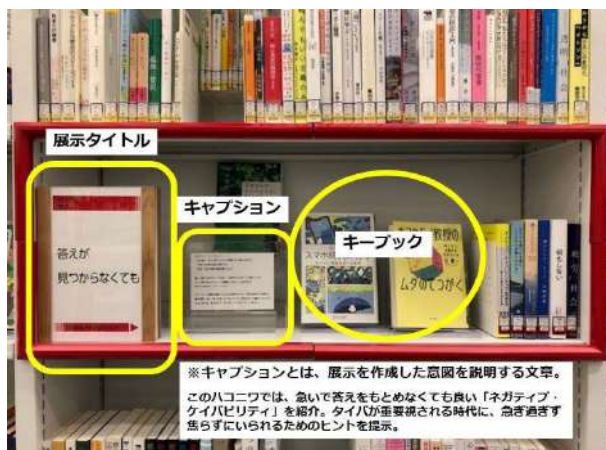
の選書の質を高め、本を充実させています。このほか、本の貸出をしない、館内で会話が可能など、これまでの図書施設ではめずらしい特徴がありますが、配架や棚づくりにおいても特色があるので、その内容をご紹介します。

当館はNDCではなく**オリジナルテーマ**による配架をしています。オリジナルテーマは大・中・小テーマと階層をつくり総論から各論へ深掘りができるようになっています。また、語りかけるような表現にすることで手に取りやすい工夫をしています。例えば、LIFEの棚なら「人間関係」の大テーマの下に「コミュニケーション」という中テーマがあり、さらにその下に「自分のこころの舵をとる」などの小テーマが並びます。棚を眺めると思考が整理され、必要な情報へ自然と誘導するつくりになっています。そのため、棚の前に立てば利用者自身が課題を発見し、情報収集をすることができます。

オープン以来、時流に合わせてテーマを新設したり解体したりと何度も修正を繰り返しながら運営をしています。テーマの見直しの際には、棚全体の文脈に合っているかの確認や漢字・ひらがな等の表記方法などさまざまな視点から検討して決めています。昨年のリニューアルでは大幅な見直しを行い298棚のうち123棚のテーマを見直しました。当館HPの「どんな本や情報があるの？」ではテーマ一覧や本の並べ方についても紹介しているので、興味がある方はこちらも是非お読みください。

また、今回あわせて紹介したいものが**ハコニワ**です。当館では常時さまざまな展示をしており、本を手にとってもらえるよう仕掛けづくりをしています。その中でもハコニワは棚の一部を赤い枠で囲んで設置する小規模な展示で、旬なトピックや知的好奇心を掻き立てる内容をテーマにしています。ハコニワは少ない冊数で作ることができ、通常の展示に比べて旬なテーマをよりスピーディーに取り上げることができます。また、棚の文脈に沿って設置することでその棚のテーマに興味がある人に対してダイレクトに訴求できる効果があります。ハコニワは常時8カ所以上設置し、その一部はSNSでも発信しています。ぜひ来館して直接ご覧いただきたいと思います。

オリジナルテーマやハコニワを用いることで、棚を通して作り手（司書）の存在を垣間見ることができます。人の見える棚づくりが当館の配架の工夫のひとつだと考えています。



（寄稿：札幌市図書・情報館 渡辺 由布子 氏）

※ 札幌市図書・情報館のHP <https://www.sapporo-community-plaza.jp/library.html>



# 「利用者目線の棚づくり～個性あふれる独自ルール本棚～」

滝川市立図書館

滝川市立図書館は庁舎2階へ移転をしたタイミングで独自の配架ルールを取り入れました。今まで図書館を訪れたことがない方達にもわかりやすい棚づくりをしたかったことが大きな理由の一つです。

ほとんどの図書館で採用している NDC（日本十進分類法）どおりに配架すると、007 のパソコン（情報学）と 547 のインターネット（通信工学）は同じ棚には並びません。598 の妊娠・出産と 498 の妊娠中の食事、599 の育児と 379 の家庭教育も同様です。闘病記などは、4 類（病気）、7 類（芸能人・アスリートなどの闘病記）、9 類（ルポルージュ）などに分散してしまいます。

自分が利用する立場なら、これらの本が近くに並んでであると便利だなと感じませんか？

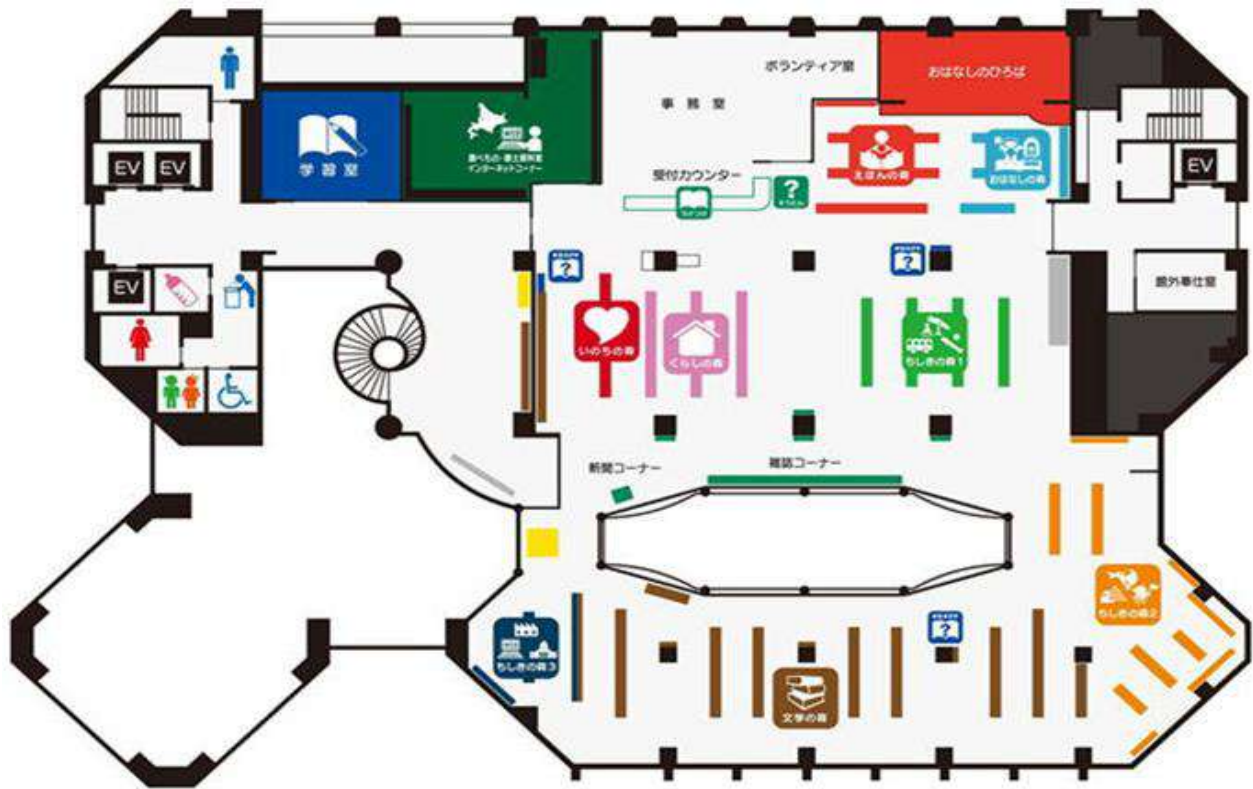
そこで、当館では利用者目線の棚づくりの視点で、開架スペースを **8 つの森** と郷土資料室、柱周り・OPAC 周りのゾーンをつくり、配置する本をいくつかの仲間に分け、独自のシールで区分をしています。

（詳しくは、次の配架ゾーン区分表を御覧下さい）

滝川市立図書館配架ゾーン区分表				
<b>【郷土資料室】</b> <b>行政</b> 行政資料コーナーに配架の行政資料（滝川に関する本） 北海道の本コーナーに配架の郷土資料（北海道に関する本） 市勢資料コーナーに配架の市勢資料（滝川に関する本） 参考資料コーナーに配架の参考資料 主に百科事典、地名、人名、全般的な統計、現代用語、法律、国語辞典、漢和辞典、外国語辞典	<b>【くらしの森】</b> 社会保障、保険、年金、相続、生き方 家族、出産・育児、教育、くらしの困りごと 冠婚葬祭、行事、ことわざ、雑学、生活、手芸、料理、住まい、園芸 華道、茶道、絵画、書道、工芸、おりがみ、工作	<b>【ちしきの森①】</b> あそび、ヒーロー、アニメ、ゲーム、クイズ、レジャー、占い、園芸、将棋 スポーツ、アウトドア、乗り物 記号、科学、宇宙、自然、植物、動物、昆虫 環境、水、絶滅動物 こどもの百科事典、図鑑、こどもの統計・年鑑、発明、仕事、工業、産業、世界遺産、こどもの北海道に関する本	<b>【えほんの森】</b> 日本の創作絵本 外国の創作絵本 日本の昔話絵本、落語絵本 世界の昔話絵本 行事絵本 キャラクター絵本 あかちゃん絵本 洋書絵本	<b>【おはなしの森】</b> 日本の物語、エッセイ 怖い話 日本の古典、詩、短歌、俳句 大活字本（こども） 名作 外国の物語、エッセイ、作品・作家論
<b>【いのちの森】</b> 健康法、闘病記、いのち、医学、健康診断、薬 病気、福祉、ボランティア、障がい、介護	<b>【ちしきの森②】</b> 地理、旅行 ことば、漢字、会話、国語辞典、外国語辞典 語学、家紋、皇族、伝記 マンガ マンガ（著名作家） 音楽、演劇、芸能、アート、芸術家	<b>【文学の森】</b> 大活字本（大人） ※その他の文学はシールなし	<b>【ちしきの森③】</b> ビジネス支援（起業、経営、金融、スキルアップほか） パソコン、インターネット 工学、技術、建築、土木 政治、経済、法律、社会、地方自治、まちづくり 農業、産業、資源	<b>【OPAC周り】</b> 情報の調べ方、著作権、読書案内 こどもの読書案内、本の調べ方、読書感想文の書き方、図書館が出来る本 文学読書案内
	<b>【ちしきの森②】</b> ヤングアダルト（生き方・ライトノベル） 世界情勢、差別・格差、各国の文化・歴史 世界の歴史、日本の歴史 哲学、心理、宗教、民俗学 戦争、軍事 大型本（アート、その他）			<b>【柱周り】</b> 図書館、博物館、美術館、司書 昔話論、絵本論、絵本作家論 児童文学論、読み聞かせ、朗読、アニメーション、ビブリオバトル、絵本案内、学校図書館 本の書き方・作り方、本屋さん、洋書

また、当市にアジア初となる難病の子どもたちを迎える常設キャンプ場「そらぶちキッズキャンプ」が建設されたことから、「出会いといのちの森・図書館」というコンセプトを掲げて、いのちの大切さを伝える図書館を目指しています。

配架ゾーンは、玄関から一番近い「新着図書コーナー」の向かい側に「いのちの森」を配置しました。一般的な医学・健康に関わるものや闘病記、福祉に関する資料が並びます。続く「くらしの森」では、家族や子育て、料理や園芸、社会保障や生き方などの本が並びます。「くらしの森」からお母さんがお子さんを眺められる位置に、「えほんの森（おはなしのひろば）」があり、その横の成長に合わせて物語に親しめる「おはなしの森」へと続きます。



フロアマップ 配架図

平行して配置した「ちしきの森1」には、宇宙や動物、植物、昆虫のほか、あそびやクイズ、スポーツなど、未就学のお子さんから楽しんでいただけるものを集めました。

次の「ちしきの森2」は、少し奥まった場所にあり、地理や旅行、語学や音楽のほか、小学校高学年から学習する伝記や歴史、ヤングアダルトコーナーがあります。

ちなみに、「いのちの森」、「くらしの森」、「ちしきの森1」、「ちしきの森2」は、一般書（大人向けの本）と児童書を区別せず、一緒に並べています。動物や車など、夢中になれる分野が見つかったお子さんにとっては児童書や一般書の区別は関係なく、大好きな本の世界を楽しんでくれます。また、逆に大人も、わかりやすい表現で書かれた児童書が入門書として最適な場合もあり、思いもよらない新しい本との出会いを味わうこともできます。

隣は「文学の森」で名のおり一般の文学類が並べられ、落ち着いた図書館らしい静けさを保てる場所となっています。森の最後は「ちしきの森3」。ビジネスなど、子ども達があまり出入りしない分野を置いています。子ども向けのお仕事の本は、「ちしきの森1」にまとめてあります。このように、館内の「森」を巡ると人の成長をなぞらえた配置になっていて、棚にストーリー性を持たせています。

司書資格を持たないスタッフにとっても、分類番号にとらわれず、本自体の内容で本を棚に戻せるので、レファレンス力が強くなり、スムーズに書架へご案内できるようになります。もちろん全ての図書館に適した方法とはいえませんが、さほど大きな問題はなく運営しています。

図書館サービスは、地域のニーズに合わせて「どうしたらできるだろう？」という視点で考えることが大切です。前例がないからと諦めずにチャレンジした滝川市立図書館における棚づくりの事例です。

みなさんのアイデア一つ一つがこれからの図書館を築いていきます。ぜひ、豊かな発想で「自分たちの図書館づくり」を楽しんでください。

(寄稿：滝川市立図書館 深村 清美 氏)

※ 滝川市立図書館の HP <https://lib.city.takikawa.hokkaido.jp/>



幕別町図書館は、平成26年度からカメレオンコードという二次元カラーコードなどを活用した図書館システムを導入し、書架とそこに配架された資料とを紐づける「棚管理」という概念で蔵書管理を行っています。この棚管理により、地域の特性や図書館のコレクションに合わせた独自の分類（以下、独自分類）の設定と、「文脈」を意識した配列、つまりはその本が持つ「知」をさまざまな角度からみて、本と本とをつなげることを意識した配架をしています。これを当館では「文脈書架」と呼んでいます。

### ○ 幕別町図書館の独自分類

蔵書管理システムでは、NDC（日本十進分類法）とともに独自分類を登録しています。独自分類は、一般向けと児童向けに大別され、一般向けはジャンル別、児童向けは教科別、そこからさらに細分化していく構成となっていて、この独自分類が配架のベースになっています。

柄谷行人の『世界史の構造』とトマ・ピケティの『21世紀の資本』は、NDCではとなりに並ぶことはありません。文脈や内容から独自分類を設定することで、同じ書架に並べることもできます。

### ○ 本の文脈を意識した配列、「文脈書架」

幕別町とは縁もゆかりもない著名人による寄贈本の展示コーナーの「北の本箱」。作家の故・森村誠一さん、株式会社資生堂名誉会長の故・福原義春さん、劇作家の平田オリザさんなど18名の著名人の寄贈本が展示されているこのコーナーは、当館の蔵書冊数約26万冊のうち約4万冊を占め、来館者の知的好奇心をくすぐります。他に類がない「北の本箱」の多重多層な本は、NDC順で並べるだけでは単なる本の羅列となってしまう、その著名人の人となり、本の空気感のようなものを表すには、本の文脈を意識した「文脈書架」という発想が必要でした。

例えば、福原義春さんの文脈書架は、「資生堂」というキーワードから連想した資生堂のコーポレートカラーの「赤」、広告デザインなどの「アート」、雑誌『花椿』の発行など「文化の発信」という切り口によって本を結びつけ並べています。

地域（郷土）資料コーナーは、ナウマン象に関する資料に始まり、アイヌ民族に関する資料、開拓に関する資料の順に配架された、年表を意識した文脈書架です。アイヌ民族と開拓の間に、町の郷土史家から寄贈された資料の展示コーナーを設置するなどの工夫もしています。

「旅」のコーナーは、ガイドブックはもちろんのこと、バスや鉄道などの交通関連、釣りやキャンプなどのアウトドアに加え、カメラに関する本を配架。アウトドアでは登山関連の本も並びますが、そこに松尾芭蕉の『おくのほそ道』を置くなど、「どうしてこの本がここに？」と、手に取ってもらえるような仕掛けづくりに力を入れています。

また、各コーナーにおいて、目をひくような**見出し**や**キャプション**をつけるよう心がけています。

文脈書架は、本をさまざまな角度からみて、その連なりを編んでいくものです。その素地にある独自分類は、幕別町図書館のコレクションを生かすための至要なツールといえます。



北の本箱コーナー・福原義春さんの文脈書架

（寄稿：幕別町図書館 民安 園美 氏）

※ 幕別町図書館の HP <https://mcl.makubetsu.jp/>



## 「借りたくなる」を目指す配架

松前町立図書館

松前町立図書館の小説棚は、**文庫本**と**単行本**を一緒に配架しています。元々は別に配架していましたが、小説は作家名で探す方がほとんどで、単行本棚にない場合「ない」と判断されることが多く、本を探す際に二度手間になることも気になっていました。

そこで、文庫本と単行本を作家名でひとつにまとめ配架したところ、利用者の方から「探しやすくなった」とお声を頂くようになり、読書案内もスムーズになりました。

また、当館では2段背ラベルを使用していることから、巻冊番号を省略しています。小説のシリーズものなど、前後がわかりにくい本では、**作品目録**を棚に設置しています。図書館の中でも圧倒的人気の小説だからこそ、ストレスなく本を見つけられる棚を目指しています。



絵本コーナーの入口は図書館の中でも特に目立つ場所にあり、ほとんどの子どもは目を向けます。元々はこちらにも本をぎっしり入れていましたが、目で見て楽しい棚にしたいと考え、ボードゲームやアンパンマンなど、子どもが大好きなものを並べた棚にしました。

また、育児雑誌もこちらに置くことにより、お子さんを連れた保護者の方が絵本と一緒に借りていくようになりました。

本を借りるつもりはなかったけど、ちょっと寄ったという人も、思わず借りたくなるような図書館を目指しています。

新着本を目立たせるため、新着本の棚数を増やしてより多くの本を**面出し**できるようにし、受賞作や映画・ドラマ化された本は常設展示をしています。

また、新着を外れたばかりの本や話題作は図書館入口外に展示。通常の棚も可能な限りスペースを空けて面出しをしています。配架スペースとの戦いですが、展示や面出しをした本は借りられることが多くなることから、より多くの本を置くことよりも重視して配架するようにしています。

探している本は見つけやすく、ちょっと便利で、思わず借りたくなる。そんな図書館を目指してこれからも配架を工夫していきたいと思っています。



(寄稿：松前町立図書館 油野 桂子 氏)

※ 松前町立図書館のHP <https://www.town.matsumae.hokkaido.jp/toshokan/>



## 2023・第77回「読書週間」の開催行事から ～市町村の事例紹介～

10月27日～11月9日の期間は「2023・第77回読書週間」でした。この時期は、図書館まつりや生涯学習フェスティバルなどを開催した図書館や図書室も多く、子どもから大人まで楽しめるような魅力的な展示やイベントが行われました。

(公社)読書推進運動協議会の行事調査で、北海道読書推進運動協議会(事務局：企画支援課)がとりまとめた市町村立図書館(室)の取組から、いくつかピックアップしてご紹介します。

### (1) 特別な年の記念展示

- 滝川市立図書館開館50周年記念事業 読書フェスティバル2023  
「日なたと日陰～紙一重の世界～」
- 日高町立門別図書館郷土資料館読書週間展示  
「競馬を読む～競馬法100周年記念」

#### ● 滝川立図書館

開館50周年記念事業

読書フェスティバル2023

「日なたと日陰～紙一重の世界～」

開館50周年を記念して、2018年10月から2023年9月までの5年間、一度も貸出にならなかった本と、50回以上貸し出した本を展示しました。過去5年間の一般編と児童編それぞれの貸出上位のランキングも掲示し紹介しました。



#### ● 日高町立門別図書館郷土資料館

読書週間展示「競馬を読む～競馬法100周年記念」



競馬法施行100周年を記念して、日高町立門別図書館郷土資料館が収集・保存している競馬に関する図書を展示しました。日高産駒を中心に過去の名馬や中央競馬に関する図書、ウマの図鑑、医学書、競馬を題材とした小説・マンガ、ウマに関する雑誌・写真集など約100点を並べて、大変好評でした。

## (2) 読書の秋を彩るイベントいろいろ！

- 市立土別図書館 「オリジナルしおりづくり」
- 東川町複合交流施設せんとぴゅあIIほんの森 「一箱本屋さん」
- 清里町図書館 「絵本づくりワークショップ」

### ● 市立土別図書館 「オリジナルしおりづくり」

バイキング形式で素材を選び、自分だけのしおりを作成する「オリジナルしおりづくり」を開催しました。

好きな言葉を自由に書いたり、動物や昆虫など様々なイラストを用いて、世界で一つだけのしおりが完成しました。



### ● 東川町複合交流施設せんとぴゅあIIほんの森 「一箱本屋さん」

段ボール一箱分の本を出店者が持ち寄り行う古本市を開催しました。大人だけでなく、小学生も出店し、オススメの本や売りたい本がたくさん並びました。手作りのガチャガチャを置き、割引券が当たるという特典を用意している出店者もありました。当日はあいにくの悪天候のため、室内で行いましたが多くの利用者で賑わっていました。



### ● 清里町図書館 「絵本づくりワークショップ」



小学生を対象として、斜里町在住のイラストレーターの北山カルルスさんによるワークショップを行いました。昔話の「かさじぞう」をアレンジした「きよさとちょうのかさじぞう」の絵本にマーカーで色を塗る作業を行いました。親子での参加もあり、皆楽しくオリジナルの絵本を作ることができました。

### (3) プレゼントがもらえる読書イベントも多数開催！

- 市立富良野図書館「絵本カバー紙バッグプレゼント」
- 福島町福祉センター図書室「読書をしてくじ引きをしよう！」
- 黒松内町ふれあいの森情報館「ぶらっと、マナヴェールDEハロウィン」



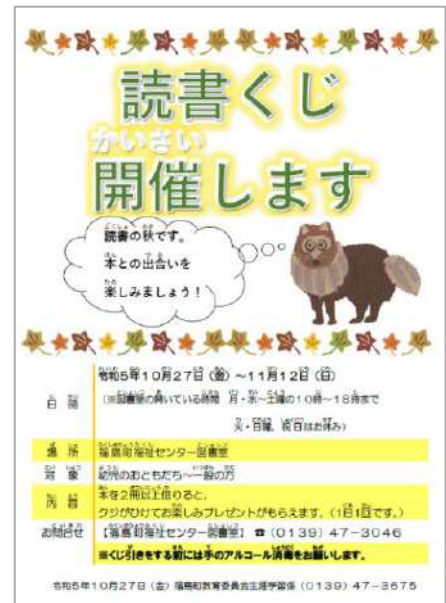
#### ● 市立富良野図書館 「絵本カバー紙バッグプレゼント」

未装備で納品された絵本のカバーを利用して職員が紙バッグを作成し、当日、本を借りた人へプレゼントするという企画を行いました。小さめの絵本などが1～2冊入る大きさで、住民からは「どのように作ったの？」と質問があったり、子どもから大人まで興味を持ってもらえるイベントになりました。

#### ● 福島町福祉センター図書室 「読書をしてくじ引きをしよう！」

1日2冊以上本を借りた幼児から大人の利用者に、くじ引きを楽しんでもらう「読書くじ」を開催しました。

景品として、図書室サポーターのハンドメイド作品や、町民から寄贈いただいた小物類をプレゼントし、約130名の参加がありました。利用者は、くじ引きだけでなく本との出会いも楽しむことができたようです。



#### ● 黒松内町ふれあいの森情報館 「ぶらっと、マナヴェールDEハロウィン」



幼児から中学生を対象に①本を3冊以上借りる、②絵本を探して答えを見つけるなどのミッションをクリアする、③オススメの本のタイトルをカードに書くという3つを実行するとお菓子が貰えるというハロウィンのイベントを開催しました。参加者は、約40名集まり、親子連れでの参加が多く見られました。普段はあまり本を借りることが少ない子どもたちも来館するきっかけとなりました。

## 1 市町村支援事業

### (1) 重点サポート (2 町)

管内	市町村名	実施日	相談内容等
空知	妹背牛町	12/1	現状と課題について 図書の分類・整理、除架・除籍、配架計画など
渡島	七飯町	2/20~21	図書館設置に向けて 各種条例等の確認、現況を踏まえた考察、整備の基本計画作りなど

### (2) 講師派遣 (16 市町・団体)

#### ◆市町村

管内	市町村名	実施日	研修テーマ・講演内容等
空知	岩見沢市	11/30	レファレンスの実践・演習 (岩見沢市立図書館職員研修会)
石狩	当別町	6/10	「より良い図書館づくりに向けた意見交換会」 (図書館移転に向けての町民対象のワークショップ) で近年建築された道内図書館の紹介と新たな図書館活動に向けての情報提供 (町民向け)
渡島	福島町	6/16	図書室ボランティア研修会 (町民向け)
上川	名寄市	6/30	図書館の建替えに向けた協議・検討に係り「これからの図書館に求められる役割と意義」と題して講演 (市立名寄図書館職員研修)
	東神楽町	7/28	「学校図書館の環境づくりと利用のための資料保存」
	美瑛町	8/3~4	・学校図書館の活性化、効果的な企画展示 (美瑛町図書館学校図書館担当者向け) ・選書・除籍、地域資料の収集・保存・活用 (美瑛町図書館職員向け)
宗谷	稚内市	6/25	「地域と歩む図書館」 (図書館移転 20 周年記念事業講演会) (町民向け)
釧路	釧路市	8/24~25	・最近の図書館の運営について報告と施設見学により館内表示等への助言 ・相互貸借に係り他館の対応や効率的な方法について助言 ・「図書館サービスと著作権」と題して講演 (釧路市図書館職員研修)

◆地域・管内 ※ 道立図書館職員が担当した講演等のみを記載

管内	研修名	実施日・会場	講演内容等
石狩	石狩管内図書館協議会総会	4/18 石狩市民図書館	道立図書館、北海道図書館振興協議会の動きについて等の情報提供
渡島	渡島管内図書館振興協議会職員研修会	11/17 北斗市総合文化センター (かなで〜る)	資料の共同保存、除籍
檜山	檜山管内図書館(室)職員等研修会	9/27 せたな町生涯学習センター	小規模図書館(室)における除架・除籍と開架レイアウト
宗谷	宗谷管内図書館振興連絡協議会研修会	10/6 稚内市立図書館	ライフステージにあわせた図書館サービス
オホーツク	オホーツク管内公共図書館協議会 北見地区公共図書館研修会	10/27 津別町役場1階 健診ホール	新館建設と道内の事例(情報提供)
	網走ブロック公共図書館職員研修会	11/22【オンライン】	障がい者向けサービス
十勝	十勝管内公共図書館協議会前期職員研修会	9/28 大樹町生涯学習センター	レファレンス・インタビュー
根室	根室・釧路管内図書館協議会地方研究集会	11/30 根室市図書館	「高齢の方や障がいのある方への図書館サービスのあり方」と題して講演

(2) 運営相談 (13 町)

管内	市町村名	回答日・訪問日	相談内容
石狩	当別町	10/27	図書購入平均単価の指標について
後志	黒松内町	1/12	公共施設における雑誌読み放題サービスの導入
胆振	壮瞥町	6/22	【訪問】図書館(室)の展示の工夫(ボランティア向け)
	厚真町	12/5	【来館】図書館設置に向けて
日高	日高町	1/19	社会教育デジタル活用等推進事業の事例照会
檜山	今金町	7/13	利用要領の改正
		12/1	蔵書点検の運営
上川	上富良野町	4/28	講師情報の提供(未就学児への読み聞かせに関する研修)
	南富良野町	1/16	道立図書館の電子図書館の学校での活用
	幌加内町	10/5	【訪問】読書ボランティアとの協働
留萌	増毛町	5/31	認知症の疑いのある利用者への接し方
宗谷	枝幸町	12/8	図書館の蔵書検索・予約システムにおける「マイ本棚」サービスの提供
	中頓別町	5/19	【来館】義務教育学校との複合による図書室の建設
十勝	鹿追町	10/24	外国語表記の利用者ガイドについて

## 2 学校図書館支援事業

### (1) 学校図書館環境改善 (2 市町、道立学校 3 校)

管内	市町村名・学校名	実施日	相談内容
空知	深川市 【多度志小学校】	12/6	学校図書館の環境整備、利用活性化に向けた取組
石狩	札幌養護学校白桜高等学園	3/13	学校図書館の環境整備
日高	様似町 【様似小学校】	5/19	学校図書館の環境整備、利用活性化に向けた取組
十勝	帯広緑陽高等学校	3/27	(訪問予定)
根室	中標津支援学校	8/1	学校図書館の環境整備、利用活性化に向けた取組

### (2) 学校図書館講師派遣 (1 市、2 団体)

管内	市町村名・団体名	実施日	研修テーマ・講演内容等
石狩	道高文連 (担当校：札幌東高等学校)	9/29	学校図書館マスコットキャラクターの作成 (全道高等学校図書研究大会(石狩大会)分科会)
	恵庭市	12/14	学校図書館と著作権、道立図書館の学校図書館支援事業案内 (司書教諭等・学校司書合同研修会)
胆振	道高文連室蘭支部 (担当校：登別青嶺高等学校)	6/16	展示方法の学び・実践(高文連室蘭支部研究大会分科会)

### (3) 学校図書館運営相談 (4 町、道立学校 2 校)

管内	市町村名・学校名	回答日	相談内容
後志	余市町 【旭中学校】	7/5	POP づくり
日高	静内高等学校	2/1	道高文連支部大会ワークショップの講師の例
留萌	小平町 【小平小学校】	7/17	学校図書室の整理計画
十勝	士幌町	4/23	学校図書館の電算化、選書基準・除籍基準の作成
根室	中標津町 【中標津中学校】	4/7	学校図書館の貸出システム
	中標津支援学校	11/15	図書館用品(書架等)の選定
		2/11	図書コーナーの整備

#### (4) 学校ブックフェスティバル (19 市町村)

管内	市町村名	実施日	実施校	参加人数	貸出冊数
空知	夕張市	7/12	ゆうばり小学校	150	575
後志	(ニセコ町)	10/20	近藤小学校	60	120
		2/14	ニセコ小学校	250	543
	(喜茂別町)	6/12~13	喜茂別中学校	40	97
		12/8	喜茂別小学校 鈴川小学校	64	304
	倶知安町	2/27	倶知安小学校	260	492
	泊村	12/20	泊小学校	47	172
	(赤井川村)	12/6	赤井川小学校 都小学校	48	218
胆振	(壮瞥町)	1/26	壮瞥小学校	91	485
日高	(様似町)	8/25	様似小学校	142	438
	(新冠町)	9/12	朝日小学校	41	134
	えりも町	8/29	えりも岬小学校	32	154
渡島	(八雲町)	1/26	東野小学校 野田生小学校 山越小学校	37	164
	(福島町)	7/3	福島小学校 吉岡小学校	90	585
檜山	(奥尻町)	11/6	青苗小学校	23	149
上川	(名寄市)	12/22	中名寄小学校	14	125
	(富良野市)	11/24	東小学校	198	561
	(愛別町)	9/14	愛別小学校	93	450
宗谷	利尻富士町	7/12	鴛泊小学校	60	176
釧路	標茶町	9/12	虹別小学校	38	193
根室	根室市	5/24	花咲小学校	143	502

合計 6,637 冊

※ (市町村名) は、職員を派遣せず図書等の貸出しのみを実施

### 3 支援貸出事業

#### (1) サポートボックス (19 市町のべ 51 セット)

令和5年度 セット名	利用市町村
大きな文字の青い鳥文庫	喜茂別町、様似町、愛別町、鹿追町
アイヌ文化はじめてセット	仁木町【仁木小学校】、様似町、富良野市
文化歴史ボックス	—
自然ボックス	福島町、名寄市、愛別町
小学国語（光村3年）セット	—
小学国語（光村4年）セット	—
小学国語（光村5年）セット	—
小学国語（光村6年）セット	—
小学国語（教育3年）セット	赤井川村、森町【尾白内小学校】
小学国語（教育4年）セット	赤井川村、森町【尾白内小学校】
小学国語（教育5年）セット	赤井川村、森町【尾白内小学校】
小学国語（教育6年）セット	赤井川村、森町【尾白内小学校】
中高生ノンフィクションセット	月形町、大空町【東藻琴中学校】
中高生小説セット	喜茂別町、富良野市
体力向上・スポーツボックス	松前町、富良野市、小平町
朝読・昼読ボックス	月形町、森町【尾白内小学校】、奥尻町、富良野市、愛別町、中川町、小平町、釧路町
仕事ナビボックス	中川町、斜里町
食育ボックス	様似町、福島町、奥尻町、富良野市、小平町、足寄町
理科読セット	松前町、富良野市、小平町

※ 学校から直接申し込みがあった町は学校名を併記

#### (2) 大量一括貸出し (32 市町村 (うち学校 1 校))

令和5年度(2023年度)は、21,580冊の貸出しをしています。

※令和6年2月末時点実績

#### (3) 事業貸出し (28 市町村 (うち学校 2 校))

※令和6年2月末時点実績

## 令和5年度全道図書館専門研修〈利用者サービス〉

令和6年1月26日（金）オンライン開催

今年度から新しく設定した〈利用者サービス〉部門の専門研修は、テーマを「図書館職員のコミュニケーション（りょく）アップ!」とし、45名に参加いただきました。

Zoom ミーティングを利用したオンラインで開催しましたが、交通事情に左右されず参加できるスタイルを歓迎のご意見や、「(情報交換等は)オンラインなのでマスクを外して表情を見ながらやりとりできました」など好評をいただきました。



### ■ 講演「『私と図書館』リレートーク ～障がい当事者の声を聞く～」

講師：障がい当事者講師の会すぷりんぐ会員

今田 雅子 氏、三井 愛子 氏、高橋 めぐみ 氏（講演順）

車イスを使用している講師3名それぞれから、図書館での思い出や利用法をお話いただきました。その中で、障がいがある方が図書館から足が遠のく原因となってしまうことや、設備・サービス面での改善を希望する点、接遇の注意点などについても、具体的な例や体験談を交えてご指摘がありました（下に紹介したのは一部です）。特に「職員が車イスに実際に乗って、配架や展示などの見え方を確かめてほしい」とのご意見については、複数の参加者から「さっそく実行してみたい」と感想が聞かれました。

#### 【便利なこと】

- ・オンラインで図書を検索・予約できること
- ・資料の郵送サービス
- ・セルフ貸出機のバーコード読み取り部分の高さが2段階あること（「大人用・子ども用」の設定だが、子ども用の高さが車イスでも使いやすい）

#### 【困りごと】

- ・障がい者用の駐車場があっても、建物までの間に雪があると冬季は車で行けない。
- ・図書館は静か＝音を立ててはいけないのだと思うと緊張してしまう（「杖を倒して音を立てたらどうしよう。」「電動車イスのバッテリー音が気にならないだろうか。」等）
- ・筋力が低下して腕が上がらず、指先の力も弱いいため、棚から本を取り出しにくい。
- ・職員は忙しそうに頼みにくい。
- ・イスで休憩したくても他の人が座っており、疲れたときに座れずにつらい。

#### 【期待すること】

- ・高い本棚の横に、職員を呼べる“ナースコール”のようなボタンが欲しい。
- ・図書館にも、高齢者や障がい者、病気の方などの「優先席」があると良い。
- ・絵本を触ることは、想像力、思考力、コミュニケーションのきっかけになり、障がい児に欠くことのできない療育方法であることから、様々な形態の図書（点字絵本や布の絵本など）を充実させてほしい。

- ・高齢者・障がい者向け住宅等への移動図書館があれば、職員の見守りもあって安心して本を借りることができるし、定期的な訪問は生活のメリハリや認知機能の低下予防にもなり、コミュニケーションのきっかけにもなる。
- ・貸出用車イスについては、使える状態（タイヤの空気、埃がかぶっていない等）で管理してほしい。

## ■ グループ協議・情報交換

講演の内容を踏まえ、自館（自校）での障がい者サービスについて、3～5名ずつの10グループに分かれて情報交換を行いました。

「本棚にも職員の心にも“ゆとり”が必要だと感じた。」「除籍資料などを高齢者施設に提供している例がある。」などの感想や事例を発表しました。

## ■ 講義・演習「短時間で信頼関係を築く ANA 流ビジネスマナー研修」

講師：ANAビジネスソリューション株式会社専属講師 森 正美 氏

講師の森氏は元客室乗務員で、現場での体験談や、ご家族での図書館利用などのエピソードも交えながら、ANA流の「対応力を高める4ステップ」を中心に講義・演習を行いました。

講師の実演（寸劇？）などもあり、「わかりやすく、すぐに実践できそうです。」「図書館業務だけでなく、日常のすべてに通じる内容でした。」などの感想が寄せられました。

### 【講義内容の一部紹介】

- ・小さな満足が積み重なると大きな信頼になり、小さな不満やストレスが積み重なると大きな不満になる。
- ・私は「やっているつもり」でも、相手には伝わっていない。
- ・相手がこちらを見ているうちは目をそらさない（相手より1秒長く視線を残す）。
- ・高齢者など、耳が遠い利用者様に言いたいことが伝わらないときは、可能ならジェスチャーを加え、大事な単語を強く伝える。
- ・相手の話を要約・復唱して共感を表すことで、「十分に聞いてくれた」との印象を残すことができ、自分（職員側）に話のターンを戻すこともできる。



# 道内図書館キャラクター紹介！

Vol. 9

HP や SNS での広報活動のほか、オリジナルグッズの作成などにも力を発揮する図書館キャラクター。

道内各地域で活躍中の、個性豊かなキャラクターたちを紹介します！

今回は、**市立土別図書館**から御寄稿いただきました。ありがとうございます。

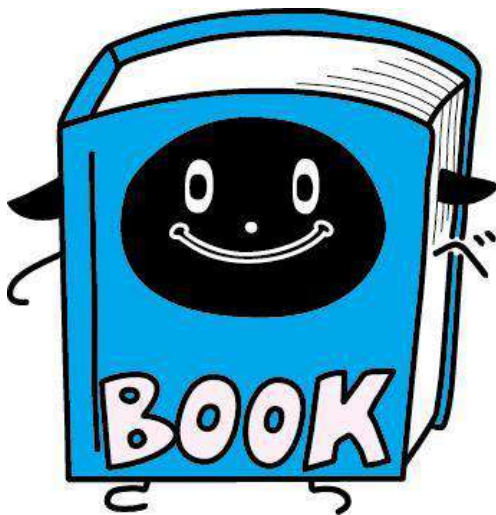


## ぶっくん 市立土別図書館

1998年に図書館をもっと親しみやすくするキャラクター・デザインを募集した中から選ばれたのが“ぶっくん”です。

まちを象徴するサフォーク種のめん羊と自然豊かな土別の青空と天塩川の水の色をイメージした本のからだをモチーフに、土別出身の大学生がデザインしました。

2004年の図書館システム導入時に、利用者カードのメインキャラクターとしてデザインし、図書館と本と利用者を結ぶキャラクターとして活躍しています。



ぼくは、チャームポイントのサフォークめん羊の顔と耳のほかにも、手と足をつかって“しべつ”をPRしているよ！しべつの図書館は今の場所に移転してから、今年で20周年。ぼくも、いろいろなところで活躍する予定だからよろしくね！

### ～ ぶっくんのプロフィール ～

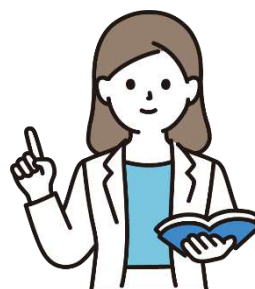
- 生年月日 1998年 7月1日
- 好きなもの(こと) めん羊図書  
貸出回数0回の本が借りられたとき 《とってもうれしい！！》
- チャームポイント あいくるしいひつじの耳
- 特技 誰とでも知り合いのような雰囲気ですることができること
- 将来の夢 市民みんなに図書館の本を借りてもらうこと 《いつでもまってるよ！》
- おすすめの本 ・高橋しん(土別出身)の全作品  
《作中に描かれる“土別の風景”をさがすのが好き》  
『写真でつづる土別の歩み』…好評発売中！

## ■ 「支援貸出用資料」の譲渡について

～ 当館で除籍となった支援活動用資料をお譲りします ～

支援活動用資料は、主に市町村立図書館、公民館図書室等の活動支援を目的として収集した資料です。  
この支援活動用資料のうち、大量一括貸出し等で一定の期間市町村で利用され、保存年限を経過したものを除籍し、道民の皆さんにご活用いただくため、無償でお譲りします。

**1 箱から送付可能！  
お気軽にお申し込みください。**



### ◆◆◆◆◆ 申込みと利用についての注意 ◆◆◆◆◆

#### [資料について]

- ・ 選べる内容は「文学」「児童書」「実用書」の3種類です。
- ・ いずれも約15～20年前に発行された資料が中心です。
- ・ 資料は箱単位で送付します。  
(1箱30～50冊程度。資料のサイズ等によりバラツキがあります。)
- ・ 1箱の中に複本がある場合があります。
- ・ 資料のバーコード・蔵書印は、消印を押印してあります。

#### [申込みについて]

- ・ 電話や図書館ポータルによる申込みは受け付けておりません。  
メールまたはFAXでお申し込み下さい。
- ・ 1回の申込受付は、文学、児童書、実用書それぞれ3箱までとします。
- ・ 資料到着後の交換・返本の希望には沿いかねます。

#### [利用について]

- ・ 有償での譲渡はご遠慮ください。

※ 譲渡可能資料の在庫がなくなり次第終了し、図書館ポータルからお知らせします。

次ページの  
申込書を  
ご利用ください



#### 【申込み・問合せ先】

北海道立図書館総務企画部企画支援課  
TEL 011-386-8521  
FAX 011-386-6906  
Eメール [shienka@library.pref.hokkaido.jp](mailto:shienka@library.pref.hokkaido.jp)

## 支援活動用資料譲渡申込書（兼FAX送信票）

北海道立図書館 企画支援課 行  
FAX 011-386-6906

年 月 日

図書館（室）名：

連絡先：TEL（ ） —

FAX（ ） —

担当者職・氏名：

希望する資料の申込欄に○をつけ、箱数をご記入ください。

※ 申込み後に担当者から確認のご連絡を差し上げる場合があります。

申込欄	分類	箱数	使用目的
	文学	箱	
	児童書	箱	
	実用書	箱	

※ 1箱30～50冊程度。資料のサイズ等によりバラツキがあります。

## ■ サポートブックス継続募集！

学校の「朝の読書」や、調べ学習等で活用できる本をセットで貸し出します。学校図書館や学級文庫等をはじめ、図書館（室）での貸出しなど、いろいろな使い方ができる便利なセットです。中高生向け図書や授業に役立つ図書を揃えたいと考える図書館にとって、選書の参考になるセットも用意しています。

募集は **残り 52 セット**（発行日現在）。申込みは先着順で承っておりますので、まずは電話等でお問い合わせください（セット名の頭に★→R 6年度に内容更新したセットです）。

	募集中のセット名	冊数	募集セット数	貸出期間
1 期	「大きな文字の青い鳥文庫」	約 40 冊	1 セット	令和 6 年 4 月下旬 ～ 7 月下旬
	「アイヌ文化はじめてセット」	約 40 冊	1 セット	
	「文化歴史ブックス」	約 40 冊	1 セット	
	「自然ブックス」	約 40 冊	2 セット	
	★「小学国語（光村 4 年）セット」	約 40 冊	1 セット	
	★「小学国語（光村 6 年）セット」	約 40 冊	1 セット	
	★「小学国語（教育 3 年）セット」	約 40 冊	2 セット	
	★「小学国語（教育 4 年）セット」	約 40 冊	2 セット	
	★「小学国語（教育 5 年）セット」	約 40 冊	2 セット	
	★「小学国語（教育 6 年）セット」	約 40 冊	2 セット	
	「中高生ノンフィクションセット」	約 160 冊	1 セット	
「中高生小説セット」	約 120 冊	1 セット		
前 期	「体力向上・スポーツブックス」	約 180 冊	2 セット	令和 6 年 4 月下旬 ～ 9 月下旬
	「朝読・昼読ブックス」	約 120 冊	2 セット	
	「仕事ナビブックス」	約 60 冊	2 セット	
	★「食育ブックス」	約 150 冊	1 セット	
	「理科読セット」	約 200 冊	1 セット	

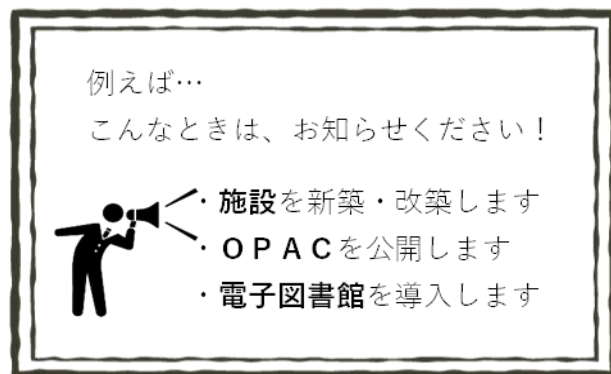
	募集中のセット名	冊数	募集セット数	貸出期間
2 期	「大きな文字の青い鳥文庫」	約 40 冊	2セット	令和6年8月下旬 ～ 12月下旬
	「文化歴史ボックス」	約 40 冊	1セット	
	「自然ボックス」	約 40 冊	1セット	
	「中高生ノンフィクションセット」	約 160 冊	1セット	
後 期	「体力向上・スポーツボックス」	約 180 冊	2セット	令和6年10月下旬 ～ 令和7年3月下旬
	「朝読・昼読ボックス」	約 120 冊	1セット	
	★「食育ボックス」	約 150 冊	3セット	
	「理科読セット」	約 200 冊	1セット	
3 期	「大きな文字の青い鳥文庫」	約 40 冊	2セット	令和7年1月下旬 ～ 3月下旬
	「アイヌ文化はじめてセット」	約 40 冊	2セット	
	「文化歴史ボックス」	約 40 冊	1セット	
	「自然ボックス」	約 40 冊	1セット	
	★「小学国語（光村3年）セット」	約 40 冊	1セット	
	★「小学国語（光村4年）セット」	約 40 冊	1セット	
	★「小学国語（光村5年）セット」	約 40 冊	1セット	
	★「小学国語（光村6年）セット」	約 40 冊	1セット	
	★「小学国語（教育3年）セット」	約 40 冊	1セット	
	★「小学国語（教育4年）セット」	約 40 冊	1セット	
	★「小学国語（教育5年）セット」	約 40 冊	1セット	
	「中高生ノンフィクションセット」	約 160 冊	1セット	
「中高生小説セット」	約 120 冊	1セット		

- 各セットの具体的な内容は「サポートボックスリスト」をご参照ください。  
リストは道立図書館ホームページ、図書館ポータル内に掲載しています。

【道立図書館ホームページ】

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/about/qji1ds0000000td2.html>





## 編集後記



図書館の役割を知ってもらうための催しの一つ、図書館見学。企画支援課では、団体向けに、道立図書館の業務説明や普段は入ることのできない書庫案内を職員が行っており、毎年、図書館職員のほか学校や道外からと多方面から申し込みがあります。

今年度も市内の小学校から図書館見学の依頼があり、低学年向けに館内を案内しました。「本は何冊あるの?」「一番楽しい仕事は?」など案内をしながら質問攻めに合うこともありましたが、後日、学校から児童一人一人が書いたお礼の手紙が届くと、「司書の仕事をしていた良かった、また頑張ろう!」という気持ちになります。各市町村立図書館(室)でも、図書館見学は子ども達にとって図書館をより一層身近に感じてもらえるきっかけになっているかと思います。

さて、道立図書館は来年度、長寿命化工事のため見学など館内での利用サービスや支援貸出事業などに制限がある期間がありますが、運営相談や講師派遣については変わらず力を入れて実施していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



企画支援課では、みなさんの図書館(室)の活動の情報を集めています。

好評だった事業、新しく始めた取組、ホームページのリニューアルなどなど、いつでも受け付けています。

『あけぼのつうしん』読後の感想も歓迎します。よろしくお願いいたします。

**[shienka@library.pref.hokkaido.jp](mailto:shienka@library.pref.hokkaido.jp)**

## あけぼのつうしん No. 87

発行日 令和6年(2024年)3月28日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <https://www.library.pref.hokkaido.jp/>